

(坂内) 矢つ張その組がお粘土だ、ミ云ふミその組が這入つて来るミ云ふ風に習慣的にはさうなつて居ります。お客様は参りますけれどもその組が餘計参ります様に。

(倉橋) 坂内さんの方のもう一つの計畫、繼續的な方のここに就てさうぞ……

(坂内) 繼續的な計畫をちやんとして居るのはその組全體が、その生活に則して來れば、劃一を基ミせず揃つて行かないでせうか。あれもこぼれ出て行く事を求めて行く、斯う言つた様な、お話を伺つて居ります。

○保育項目の前に先づ幼

稚園は

(倉橋) 私の説明した事は保育項目を如何なる見方をすべきか、ミ云ふ事は計畫論としては對角線的に色んな意見が立ちますが、子供が實際に何うなつて行くか、實際に於ては何うなつて居るか、ミ云ふ事迄行くミその幼稚園の保育項目に這入る前の幼稚園のやり方ミ言ひますか、斯う出て行くのをこぼれるミ見るか、そのこぼれようとして居る

のが本體で、いくつかが集つて來たのは勿怪の幸ひミ見るか、そこらで大本で變りが出て來さうですね。其處でこれはその位で……大變難しくなりますから。追々。

先刻千葉のガソリンカーは停電しましたが、いかゞですか。(笑聲)

(渡部) 何ミ申上げていゝか。伺つて頂き度いのですけれども、申上げ憎いので。

(倉橋) 聞き度いけれども分らない。

(渡部) 昨年邊りから悩みが重なつて……。

(倉橋) 悩みが重つて、自分で笑ひ出したりする人はありやませぬ。(笑聲)

(渡部) 私が園長さまで主任さまでちやんミ何も彼も計畫的にやつたら、ミても素晴らしいものが出來やしないかと思ひます。

(倉橋) 大氣焔ですね。(笑聲)

(渡部) 堀先生には少し耳を塞いで頂かなければいけませんぬかもしれませぬが、さうも保育項目ミ云ふものを斯う小學校の教材的に考へていらつしやる方が、方々から見

いらつしやる爲に、それを何まかして表はさなくちやならない様に苦心をしなくちやならなくなるのですけれども、私自身としてはそんなに保育項目一つ／＼を表はして掛らなくても、一日過した、一週間過した後でいくらもその中から保育項目を拾ひ出せるミ、斯う思つて居ります。

(倉橋) 千葉の海岸の蛤の様にね。(笑聲)

(渡部) いつ何處から突込んで來られましても、唱歌もして居るし手技もして居るしお話もするし、忠實にやつて居ますけれども形もして表はれた所はそんな風に見える。いつも遊んで居る様に思はれて。何と言ひませうか。

その爲にも悩んで居るのでございます。項目ミ云ふものを一つ／＼を堅く考へて行けば、今の様に設定的な風になりますけれども、私の設定的でもございませぬしそれか言つて白根さんのようでもなし、自分ミしては一週間に、

一月、一学期ミ大きく分けなくて小さいのを段々大きくして、一週間の作業ミ云ふ事が中心になつて居るらしいですが、作業を生活の中に入れてしまして、四月、五月、月に分けたらさうなりますが、一週間に分けたら、今週は、夏

の頃でしたら何處か海岸にでも行きませうとか、生活を中心にした題目を決めて、生活を中心にして生活を發展させて、その中から保育項目を斯う見付け出したのでございます。しかし又全然さうするミ、いくらか片寄つて來るミ思ひます。それで談話をどの位、唱歌がどの位ミ云ふ風に系統立つて表はず事は出來ないのでございませうけれども、一週間か一月か一学期ミか段々纏つて、その生活を發展させて行つて居ります。そして日誌に毎日書いて居ります事にも談話がどの位、唱歌がどの位ミ云ふ事になつては居りますけれども、一日中だけで何處で何うして纏つたものか、何時斯う澤山纏つて何をしたかミ云ふ事が表はれて居りませぬ。で其處を何まかしなければと思つて考へて居るのでございます。此頃は暮の町を、商店の賣出しなんかやつて居りますけれども、自由に、設定的じやございませぬけれども、「君達は此處のこれを拵へてね」ミ云ふものが段々纏つて設定的にやつて居る様に見えますけれどもさう窮屈に何をやるミ云ふ様な事でないに、自然にあればあれをやる、あの人はこれをやるミ云ふ様に片寄らないで出来る

事もございますけれども、其處を保育項目一つ／＼をさうやつてる言はれるこ、申譯ないこ申上げなくちやならな
い。

(倉橋) 其處で、すね。設定的にしても、遊びの中から
蛤を拾ひ出す様に拾ひ出して來ても、まあ要するに幼稚園
ミ云ふあの生活の程度の所では元々淡い生活であつて、設
定した所でさうがつちりした生活でもないでせうし、拾ひ
出しても淡過ぎて豊かでないかも知れぬ。此處に問題ミな
つて居る事は配當如何、ミ云ふのでありまして、設定的に
行くにしても、拾ひ出すにしても、又心構へがあるミ仰有
つても、ないミ仰有つても、坂内さんのいはれた様に、片
寄らないミ云ふ事は大きな心掛けてなければならぬでせ
う。打つちやり放しの偶然ミ仰有つたが、それは經驗をロ
マンティックに見て居られるので、配當ミ云ふ問題につけ
て行けば、矢つ張り、片寄つては居ないだらうか、ミ云ふ
氣持はなければならぬものだと思ふ。それを片寄せない
爲に、設定的にがつちりミ、分配主義に行くか、又其處は
少しさう思ふ様には行かないけれども、生活尊重ミ云ふロ

マンティックな立場から生活につくられて行く様な風にするか。片寄らぬミ云ふ事は考へて居るミすれば、矢つ張同じ問題に歸着しないか、と思ふ。これが保育項目のある所
以じやないか。坂内さんが仰有る通りだと思ふ。それがさ
うも生活につかうか、教育目的につかうか、ミ云ふ所に誰
れかのように悩まされる人も出て來るのですか、要するに
淡さの故かとも思はれます。ミころで、幼稚園よりは萬事
に濃い小學校の方では何うですか。作業主義ミか、合科的
ミか學科別の取扱ひでない行き方がある。幼稚園の淡さミ
は違つて學科ミしての部分も存し、學科でない部分も少し
ある、ミ云ふ事は幼稚園よりよく見定め易いかと思ふ。そ
れを我々の参考ミして堀さんにお話願ひませうか。小學校
ではどんな風になつてゐるか。渡部さんの様な人が悩んで
ゐるから教へて下さい。

(堀) 渡部さんの悩みをもつミ聞き度いと思つて……。

(笑聲)

(倉橋) 人事相談所。(笑聲)